

住友化学 i - 農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第 122 号 平成 27 年 2 月 27 日

発行 住友化学(株) アグロ事業部

お客様相談室 0570-058-669

編集者 太田有香

発行責任者 竹迫昭弥



目次

農家さん訪問記 (106) 【長崎・びわ】	p. 1
新農薬紹介【箱王子・ゴエモンフロアブル】	p. 6
農薬ってなに?	p. 8
今月のご相談から【ダントツ粒剤・ベンレート水和剤・ 楽一・トレファノサイド乳剤】	p. 12
農薬登録情報	p. 13
サンライズファーム日誌	p. 18
【お知らせ】読者プレゼント実施中! 他	p. 19
美味しい時間へようこそ♪	p. 20
バーチャルトライアスロンの旅 vol. 17	p. 21
編集後記	p. 22

～住友化学は、今年開業 100 周年を迎えます～



キンカンとノビタキ
富樫 信樹 画

農家さん訪問記(106)

＝7 年で独自のびわ栽培経営方法を確立＝

今回は長崎半島の付け根にある長崎市の中心街から 14km 程南下したところにある宮崎町に、びわ栽培を独自の視点で経営されている田平正敏さん (64 歳) を訪ねました。長崎のびわといえば「茂木びわ」が有名で全国の 30% の生産量を誇っています。宮崎町は対岸に天草灘をはさんで天草を望み、半島の西側は有名な軍艦島があるところです。訪問した日は快晴で暖かく、長崎西彼(せいひ)農業協同組合のご厚意で会議室をお借りし、お話を伺いました。

(訪問日 1 月 20 日)

57 歳で転機

田平さんは今年 64 歳ですが農業を本格的に始められたのは 7 年前です。田平さんは長崎工業高校建築科を卒業後、二級建築士の資格を取得し、建築設計の仕事に就いていました。建築の仕事に就いたのは、「農業から逃げたい」気持ちがあったからだそうです。お父さんは当時露地 40a、ハウス 650 m² でびわを栽培していました。しかし、57 歳の時にお父さんが病気になり、農業を続けていくことができなくなりました。この時、田平さんはこのまま建築設計の仕事続けるか、農業に転身するかで悩まれたそうです。建築設計の仕事をしながらの兼業農家になる気持ちは全くなく、転身するなら専業農家になると考えていたので、重大な決断をする必要がありました。ここで、田平さんが専業農家になる決断を下したのに



田平さんご夫妻

は次の理由があります。

- ① 徐々に不景気になっていく時代となり、建築設計の仕事が減ってきたこと。
- ② お父さんの代理で農協が開催するハウスびわ定例部会に出席し、びわの単価表を見たとき 1月、2月の早期出荷での単価が、田平さんが知っていた5月の出荷での単価より高く、この出荷単価なら「やっていける。生活ができる」と感じたこと。
- ③ びわ栽培の詳細は知らなくても、時々お父さんの仕事を手伝っていたことで、栽培全体の流れは知っており、周辺には親しい仲間や親戚がびわ栽培に従事しているので、色々な助言が得られること。

建築設計の感覚を農業に

奥さんは以前から出荷の手伝いはしていたので状況を理解していましたが、田平さんがびわの専業農家に転身する決断をしたことを知ると「生活が大きく変わり、収入面で不安だ」と感じていました。また、周辺の人達も「大丈夫かな、やれるかな」と言っていたそうです。しかし、決断を下した後の田平さんには迷いはありませんでした。そして、ここで建築設計で培われた経営感覚が生きてきます。田平さんはびわ農家になるに当たり、次のような経営基本方針を立てました。

- ① 田平さんと奥さんだけで切り盛りできる範囲とし、人は雇わない。規模拡大してもこの範囲とする。
- ② 2人だけで効率よく作業ができる栽培方法とする。
- ③ 早期出荷を目指し、高い単価で出荷できる方法とする。

基本方針②のもと取り入れたのが低木栽培です。びわは木の高さが4mにもなり、袋かけや、収穫作業をするのに高い脚立が必要となります。脚立を使用する作業は疲労も大きく、横移動ができません。また、倒れる危険もあります。田平さん自身、脚立での作業中に倒れ、地面に落ちた経験があります。そこで低木栽培を取り入れました。低木栽培は脚立を使用しないので安全で、疲労も少なく、横移動が簡単で、効率良く作業ができます。さらに高木栽培に比較して、受光がよく、均一に光があたるので、品質が均一化し、さらに収穫が早くなります。これは早期出荷で出荷単価を上げたい田平さんの方針にも合っています。

低木栽培に挑戦

そこで長崎県の東彼(とうひ)地区で低木栽培を行っている農家に指導を仰ぎ、低木栽培を始めました。しかし、実際に低木栽培を始めると、周りから色々な反応が返ってきました。先ずお父さんが強剪定されたびわの木を見て怒りましたが、田平さんは「栽培をまかせたのなら、全部まかせてくれ」とお父さんを説得しました。また、びわ栽培の先輩から「枝を低く誘引すると通路がなくなる。」「収量が減るぞ。」といったアドバイスがありましたが、全く動じることはありませんでした。一方、栽培を始めて1年目にびわ栽培をしている従兄の方から「葉の出



びわの低木栽培

ている方向を見定めて剪定すれば、枝を自分の出したい方向にだせる」とのアドバイスを受け、これを守ることで良好な樹形を実現できるなど、地域の人からも田平さんの転身は後押しされていました。

しかし、強剪定による影響は大きく最初の年は開花数が少なく、収量は半減しました。それでも、田平さんは経営を安定させるため前向きに動きます。近隣にあった叔母さん所有の土地 **18a** を借金までして、買い取り、新しいハウス **14a** を建て、全体でハウス面積を **20a** にしました。この借金も奥さんの不安の一つでした。

新しいハウスには新しくびわを植えましたが、植える品種の選別にも田平さんの経営基本方針があります。それは収穫期の異なる品種を選び、出荷時期を分け、袋かけ、収穫、出荷等の作業が一時期に集中しないようにすることです。早期出荷ができる品種の栽培面積を多くすることで収入をあげようとする、作業が集中し、基本方針である「田平さんと奥さんだけで切り盛りできる範囲」を超えてしまいます。

この方針から、2月中旬～4月初旬にかけて出荷することが可能な「長崎早生」、4月中旬～5月中旬に出荷する「茂木種」、5月中旬～6月初旬に出荷する「なつたより」の3品種を現在栽培しています。この3品種の栽培で出荷時期を分散することで、袋かけや収穫作業が一時期に集中せず、基本方針「①田平さんと奥さんだけで切り盛りできる範囲」を守りつつ、基本方針「③早期出荷を目指し、高い単価で出荷できる方法」が実現できています。

田平さんの「長崎早生」でのハウス栽培歴は以下の通りです。この作業は「なつたより」の収穫が6月初旬に終了してから開始されます。

6月：誘引と剪定、8月下旬：元肥施用、9月：芽かき、花摘み、

10月～11月中旬：開花、12月中旬：袋かけ、2月中旬収穫・出荷

「茂木種」と「なつたより」の作業はそれぞれ1～2カ月遅れて開始されます。

このように、すべての作業が一時期に集中することなく行えることで、奥さんと2人だけで**20a**のハウス栽培と**40a**の露地栽培が可能になっています。



田平さんのハウス全景

ハウス、作業用建物も建築設計の目線で

お話を伺った後、ハウスに案内して頂きました。海岸線から **2km** 程入ったところに、大きな用水ダム（宮崎ダム）が作られており、このダムからの川筋にあります。また、ハウスの西には標高は高くはありませんが、急な斜面を持つ山が迫っています。さすがびわ栽培地帯で、この急な斜面の中ほどにも他の農家さんのびわ栽培のハウスが建てられています。

ハウスに入ると奥さんに笑顔で迎えて頂きました。また、ビーグル犬（名前モモ）が大歓迎してくれました。田平さんによるとハウス内に犬を放しておく、犬の臭いを嫌がるのか、タヌキが侵入してこないそうです。ハウス内のびわは高さが **1.5m** 程度にそろっており、袋がかけら



「ハウスは私が守る！」



着色の進んだびわ

たね。」と言いますと、「確かに、大変な作業でしたが、1度セットすると後は手間がかからないので、それほどのことではありません。」と嬉しそうに言われました。また「栽培のポイントは？」と聞くと「水やりです。過乾燥は防ぐ必要はありますが、一方、湿度を下げる必要があります。」とのこと。ここでまた、建築設計の技が活きます。建築設計では室内の換気と空気循環を厳密に計算しますが、田平さんの計算では新設した時のハウスではこの換気、循環能力が不足していたそうです。また、びわの生育を揃えるにはハウス内の環境条件を均一にする必要があります。そこで、地面には工業用扇風機、ハウスの上部に換気扇や扇風機を色々な方向に設置し、換気効率を上げ湿度を低くするとともに、ハウス内を均一な状態になるよう工夫しています。この扇風機には前出の先輩も驚いていたそうです。また、ハウスの中を2つに区切り温度を変え、作業の分散を図っています。

ハウスの外には作業用の建物が建てられていました。当然ですが、この建物も田平さんが設計し、知人が施工したそうです。内部は実に合理的にできており、出荷用の車の駐車エリア、車の荷台の高さに合わせた作業フロア、中2階と2階の収納場所があります。外から見ると1階建の建物でも中は4層にし、作業空間を確保しながら、中にも圧迫感を感じない設計になっています。また、夜に選果する時、果実の色調が昼間と同じになるように、太陽光と同じ光を出す照明が設置されています。さらに建物の下には貯水槽があります。この貯水槽はハウスの屋根に降った雨を貯め、灌水用として使用するためのものです。

れていました。袋を外して果実を見せていただくと、丁度着色が進んでいる状態でした。栽培を始めたころは10a当たり208本栽培していましたが、木が大きくなると共に徐々に減らしていき、現在は181本としており、いずれ100本程度に減らしていく予定だそうです。

着花枝には紐が付き、地面にたてられた小さな杭に結び付けられていました。そのため、木の根元を見ると主幹から枝が整然と伸びており、いずれの木もきれいな樹形をしています。この地面に誘引する作業も田平さんと奥さんの2人だけで行われたそうで、「大変でし



誘引方法を説明する田平さん



整然とした枝と誘引紐



ハウス内の換気扇



外観は1階建の建物も・・・内部は4層構造



夜間作業用照明灯と雨水を集める地下貯水槽入口

師匠に追いついた

建築設計の感覚と農家経営が結びつき、お父さんの頃から比べると、わずか7年で収穫量も増し、収入も増えています。周辺に住んでいる親戚は「どうせ途中で投げ出すだろう。」と思っていたようですが、82歳の叔父さんが「農業にここまではまるとは思わなかった。」と言ったそうです。田平さんはインタビューの最後に「建築設計時代は対人関係で疲れることが多く、今はとても楽しい。農業をすることにして本当に良かった。」としみじみおっしゃいました。

田平さんは一年中「びわ漬け」で、現在も仲間との情報交換を行い、東彼、大村、島原の地域に行き勉強し、少しでも良い品質のものを早く出荷して収入をあげる努力をしています。そして今年2月2日頃に出荷が可能となり、ついに低木栽培を教えて頂いた東彼の農家に追いつくことが出来るようになりました。

今後のことを伺いました。息子さんが3人おり、それぞれ独立して、実家から離れて仕事に就いています。長男が長崎で公務員をしていますが、定年となると今の年金制度では生活が苦しいので、後を継ぐとおっしゃっているそうです。長男が後を継ぐのは20数年後で、田平さんも90歳近くになりますが、「92歳の叔父さんが現役で働いており、これを目標に頑張るぞ」とにこやかに笑っておられました。

今回の取材は長崎西彼農業協同組合及び株式会社温仙堂濱口副本部長のお世話で実現しました。お礼申し上げます。
(山脇・木下)

[目次へ戻る](#)

新農薬紹介

大切な稲は
ボクがお守ります。



●有効成分●

- クロチアニジン 1.5 %
- スピネトラム 0.50%
- イソチアニル 2.0 %

新登場
水稲育苗箱専用殺虫殺菌剤
箱王子 粒剤

登録番号：第23511号

1. **いもち病と主要な水稲病害虫に優れた効果！**
いもち病と水稲初期害虫（イネドロオウムシ・イネミズゾウムシ）、
ウンカ類、ツマグロヨコバイ、チョウ目害虫に優れた効果を示します。
2. **幅広い使用時期！**
は種前から移植時までいつでも使用できます。
3. **イネに対する高い安全性！**

2015年2月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ コブノメイガ	育苗箱 (30x60x 3cm使用土 壌約5L) 1箱当たり 50g	は種前	1回	育苗箱の床土または 覆土に均一に混和する	クロチアニジン を含む農薬：4回以内 (移植時までの処理は1回 以内、本田での散布、空中 散布、無人ヘリ散布は合計 3回以内) スピネトラム を含む農薬：3回以内 (移植時までの処理は1回 以内、本田での散布は2回 以内)
			は種時 (覆土前) ～移植当日		育苗箱の上から均一に 散布する	
	は種前		育苗箱の床土または 覆土に均一に混和する			
	は種時 (覆土前)		育苗箱の上から均一に 散布する			
	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌)					イソチアニル を含む農薬：3回以内 (移植時までの処理は1回 以内、本田では2回以内)

(田中)

新農薬紹介

水稲用初・中期一発処理除草剤

農水省登録番号 第23578号



ズエモン[®]フロアブル



除草のすぐ腕、
ここに参よ。

<有効成分>

イプフェンカルバゾン : 4.6%
イマゾスルフロン : 1.7%
ブロモブチド : 16.7%

1. ノビエに優れた効果を示す
イプフェンカルバゾンの配合によりノビエに優れた効果を示します。
2. さまざまな雑草に高い効果を持つ
SU抵抗性雑草、多年生雑草にも有効です。
3. 田植同時処理が可能
水稲に対して安全性が高く、移植時からの処理が可能です。

(2014年11月末日現在の登録内容)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (東北) ヒルムシロ セリ	移植時	砂壌土 ～ 埴土	500ml /10a	1回	田植同時 散布機で 施用	東北
			壤土 ～ 埴土				全域(東北を除く) の普通期及び 早期栽培地帯
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし 移植後30日まで	砂壌土 ～ 埴土			原液湛水 散布	東北
			壤土 ～ 埴土				全域(東北を除く) の普通期及び 早期栽培地帯
		イプフェンカルバゾンを含む 農薬の総使用回数		イマゾスルフロンを含む 農薬の総使用回数		ブロモブチドを含む 農薬の総使用回数	
		2回以内		2回以内		2回以内	

(佐柳)

[目次へ戻る](#)

農薬ってなに？

第3回

～食糧増産の観点から見た農薬の役割とその研究開発～

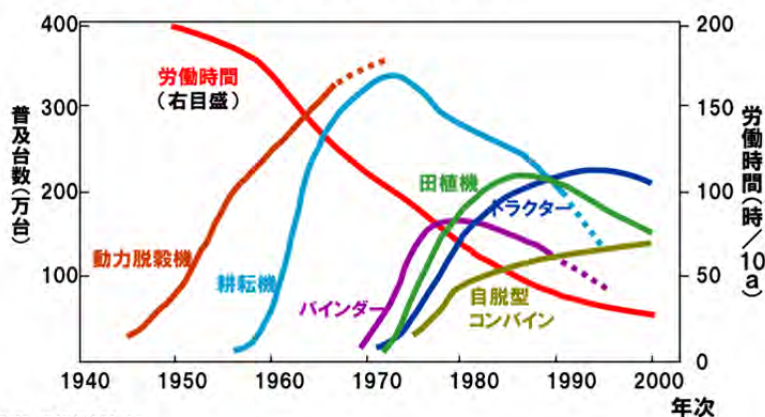
執行役員 大坪 敏朗

2. 2) 農業生産性の向上への取組み

第120号にて近年の食糧増産は単位面積当たりの収穫量の向上に負うところが大きいことをお話ししましたが、この章では農業生産性の向上の観点から各種栽培技術が担ってきた役割について話をしたいと思います。

農業機械の普及と労働時間の推移

稲作における機械化の進展と労働時間の推移



参考: 農業機械年鑑

まずは農業機械ですが、その開発・普及が労働時間の短縮に大いに貢献していることは明らかで、1950年と2000年を比較すると稲作の作業時間は16分の1にまで減少しています。

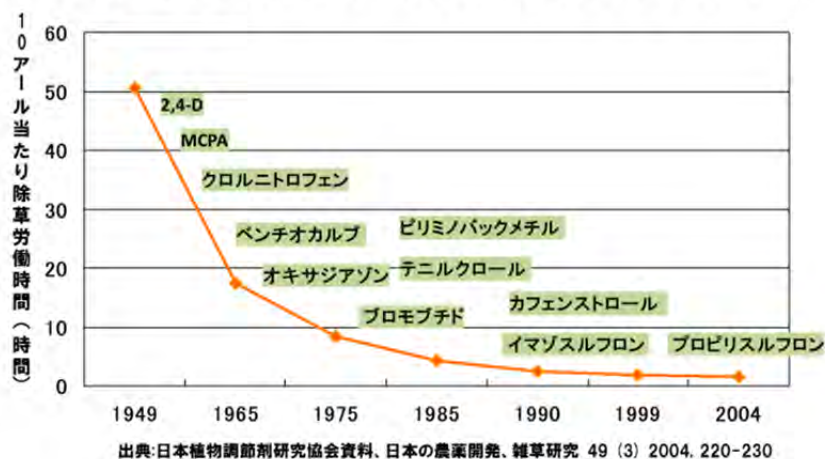
私が趣味にしています週末の農作業では農業機械は使えませんので堆肥・肥料のすき込みや畝立は当然鍬と鋤に頼ります。その結果、7m程度の畝を一本立てるのに本当にへとへとになります。それはそれで健康の増進に役立ちますし作業後のビールが上手くて良いのですが、1日3畝が限度です。牛馬を使ったとしてもそんなに効率的ではないと思いますの

で、昔の農作業は本当に過酷だったのであろうと推察します。

次いで除草剤も労働時間の短縮に大いに貢献しています。稲作を例にしますと、除草剤が普及していなかった1949年には1反(10a)当りの水田の草取りに約50時間かかっていた。しかし、除草剤が上市され、より使いやすい製品が普及するにつれて、その時間は劇的に減少し、2000年以降では2時間を切りました。水田用除草剤の登場は、単に除草作業を軽減したばかりでなく、農家の兼業化を可能にし、日本の高度成長の原動力にもなったとも言われています。

なお、農家の皆さんはお分かりでしょうが、雑草を取り除かないと作物の収量が減少します。日本植物防疫協会の1993年の資料(農薬を使用しないで栽培した場合の病害虫等の被害に関する調査報告)によりますと、除草しない場合には水稻で36%の減収になるようです。昔から稲作は除草との戦いと言われていますが、何もしないとこれだけ減収することが分かっていたので、炎天下の水田での重労働(田の草取り)に耐えられ

水稻作における除草剤利用による労力の軽減効果



出典: 日本植物調節剤研究協会資料、日本の農薬開発、雑草研究 49 (3) 2004, 220-230

たのでしょうね。また、病害虫による減収抑制の観点から殺虫・殺菌剤の役割が非常に大きいことも皆さん実感されておられると思います。これにつきましては2008年に日本植物防疫協会が分かりやすいデータを公表しています。それによりますと、無農薬栽培をした場合にりんごでは97%、きゅうりは61%、水稲で24%の減収を覚悟する必要があるとのことです。

私自身、2013年はなすでひどい目にあいました。6月の終わりに葉と実がニジュウヤホシテントウに食害されていることに気付いていたのですが、仕事の関係で2週間以上世話が出来ませんでした。当然のことながら結果はさんざんで、葉は殆ど食べられ実も食害で穴だらけになってしまい、7月上旬に泣く泣く異常に早い切り戻しを行いました。2014年はそれに懲りてしっかりと殺虫剤処理をしましたので元気でたくさん実を付けました。一方でうどんこ病

が出ているのを知りながら1週間以上放置してしまったカボチャは瞬間に全体が真っ白になってしまいました。それに嫌気がさし、まだこれからという8月初旬に引き抜いてしまいました。幸い15個程度を収穫済みであったため、まあ良いかと無理やり納得はしたのですが、自分の懲りない性格が嫌になってしまいました。やはり素人は素人ですね。安定的な収穫を期待するためには植物の状態を日々の観察をした上でタイミング良く農薬を処理することの重要性を再認識しております。



幼虫



成虫

ナスを食害するにつくきニジュウヤホシテントウ

生産者の方々と我々農業資材提供者が連携することで、より省力的かつ効果的な栽培防除技術を考案・汎用化していければと思っておりますので、皆様のご支援をお願い致します。

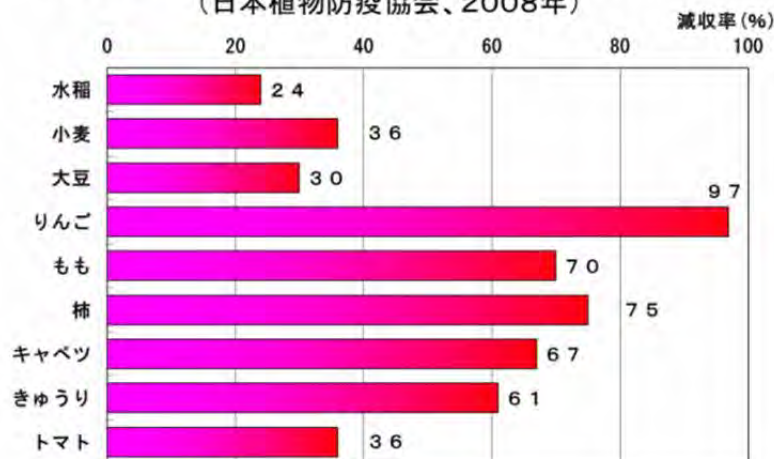
3. 農薬とは何？ (農林水産省HP農薬コーナー、農薬工業会HPより)

少し堅苦しい話になりますが、ご容赦下さい。

ご存じの方もおられると思いますが、農薬は現農林水産省にて1948年に制定されました農薬取締法という法律で定義されており、それを基に分類しますと下図のようになります。

農作物に適用される殺虫剤や殺菌剤、除草剤が含まれるのは勿論ですが、農作物に害をなすネズミの駆除を目的とした殺そ剤も農薬に含まれます。また、農薬の付着性を向上させる助剤(展着剤)も農薬に分類されます。

農薬を使用しないで栽培した場合の病害虫等による減収率
(日本植物防疫協会、2008年)



しております。

また、増収性や耐病性などの付与を目指した品種の改良や緩効性肥料を含む高機能性肥料等を用いた施肥技術の進歩、水田用除草剤における一発処理技術に代表される農薬施用技術の進歩等も農作業の省力化、増収に寄与していることは言うまでもありません。

今後とも現場でご苦労されておられる

農家の方は別にして、植物成長調整剤というのは耳慣れない言葉だという読者の方がおられるかも知れませんので、お米を例にして少し説明をします。皆さんコシヒカリは人気の品種ですよね。ただ、この品種は他の品種と比較して背丈が高くなるという性質を持っており、収穫前に台風等の強い風が吹くと全体がなぎ倒されてしまい収穫や品質に深刻な影響が出る可能性があります。これに関しては、俗称コケヒカリと言われているということを専門農家をしていただきました義父から聞いたことがあります。倒伏を軽減するには背丈を短くすれば良いわけで、このような目的で処理される薬剤等が植物成長調整剤に分類されています。

なお、農薬の中には「特定農薬」（通称特定防除剤）と呼ばれるものがあります。

2002年に行われた農薬取締法の改正時に登録の無い農薬の製造、販売および使用が禁止されました。この際に農作物の防除に使う薬剤や天敵で安全であることが自明なものまで農薬登録を義務付ける過剰規制を防止するために創設された制度です。特定農薬は改正農薬取締法の第2条1項において「その原材料に照らし農作物、人畜及び水産動植物に害を及ぼす恐れがないことが明らかなものとして農林水産大臣および環境大臣が指定する農薬」と定義されています。農林水産省によりますと、平成14年11月から12月かけて広く関連する資材の情報を求めたところ全国から

2900件の情報が寄せられたようです。

その中には、アイガモ、アヒル、ウシ、コイ等も含まれていたようですが、これら動物は元々農薬ではないということで除外された上で議論が進められた結果、その時点で殺菌効果を持つことが明らかであった重曹と食酢、及び地場で生息する天敵（ナナホシテントウや寄生バチ等）の3種が指定を受けました。その後、平成26年3月28日付けの改正でエチレンと次亜塩素酸水（塩酸又は塩化カリウム水溶液を電気分解して得られるものに限る）が追加されて現在に至っています。なお、それ以外の指定を保留されている資材は、現段階では個人の責任で使用するには制限がありませんが、薬効をうたって販売すれば登録のない薬剤と同じ扱いになり罰則の対象になりますので注意が必要です。

一方で、衛生害虫と称されるハエや蚊、ゴキブリ等を駆除する薬剤は農薬には該当しません。これらは厚生労働省が管轄する薬事法によって規制を受けます。薬事法の分類で医薬品と医薬部

農薬の種類

殺虫剤	殺菌剤	除草剤
害虫の駆除	植物病原菌の防除	有害雑草類の防除
その他の農薬		
殺そ剤	ネズミ類の駆除	
植物成長調整剤	農作物品質向上のため、植物生理機能を増進または抑制	
忌避剤	動物が忌避する臭い、味を利用した鳥獣害の防除	
誘引剤	有害動物・昆虫を一定の場所に誘引する防除	
展着剤	農薬が害虫の体や作物表面によく付着するように添加	



外品がありますが、前者は人体等に直接影響を及ぼすもので薬剤師のいる薬局・薬店でしか販売が出来ません。一方で後者はスーパーやホームセンター等で販売ができるもので、皆さんがご存知の蚊取り線香やゴキブリ駆除用のエアゾール剤等がこれに該当します。

農薬の安全性が如何に担保されているのかについては後ほど解説をしたいと思います。農薬は農薬取締法以外にも色々な視点から各種法律の規制を受けています。

例えば食品の規格基準として農薬の残留基準を定めている食品衛生法（厚生労働省）があります。これは国や都道府県による食品検査、それに伴う出荷停止などの処置の根拠となる法律で、残留農薬に関するポジティブリスト制度の導入はこの法律の改正により実現

しました。また、内閣府は食品安全衛生法により食品安全委員会の設置を定めています。これにつきましても次号以降で説明しますが、一日摂取許容量（ADI）の設定など農薬の安全性評価はこの委員会が行います。

なお、一旦農薬として登録されたとしても、そのまま永久にその登録が維持されるわけではありません。

農薬登録の有効期間は3年で再登録の手続きがなければ失効します。次の再登録時期までに新たな試験項目が追加された場合には、既登録農薬についてもその試験についての成績提出が義務づけられており、常に最新の基準で安全性の審査が行われる体制になっている事を付け加えてこの章を終えたいと思います。

家庭用殺虫剤の対象害虫と法的関係（厚生労働省管轄）

分類	対象害虫	法的関係	剤型例〔有効成分〕
医薬品	衛生害虫 蚊、ハエ、ゴキブリ、ノミ、 トコジラミ(ナンキンムシ)、 イエダニ、シラミ、 屋内塵性ダニ類	薬事法	家庭用—くん煙剤、 全量噴射式エアゾール、 エアゾール剤、粉剤 〔ピレスロイド、 有機リン剤、 カーバメート剤〕 防疫用—乳剤、粉剤 〔有機リン剤〕
医薬部外品 (誘引殺虫剤を含む)	衛生害虫 蚊、ハエ、ゴキブリ、ノミ、 トコジラミ(ナンキンムシ)、 イエダニ、シラミ、 屋内塵性ダニ類	薬事法	家庭用—蚊取り線香、電気蚊取、 ファン式蚊取、 エアゾール剤、粉剤 〔ピレスロイド〕 防疫用—油剤、乳剤 〔ピレスロイド〕
化成品	不快害虫 クロアリ、シロアリ、 ハチ、ブユ、ユスリカ、 ケムシ、ムカデ、クモなど 衣料害虫、建築害虫	化審法 生活害虫 防除剤 協議会 自主基準	エアゾール剤、 粉剤（ピレスロイド、有機リン 剤、カーバメート剤）

[目次へ戻る](#)

「知りたい！聞きたい！農薬・肥料」のお客さま相談室より

今月のご相談から

1. 大阪府 農家の方

Q：かんしょを栽培しています。昨年は堆肥をたくさん入れている関係かコガネムシが多発し、ほとんど収穫できませんでした。インターネットで調べるとブイハンターフロアブルという殺虫剤が、有機栽培でコガネムシに効く剤として載っていました。入手できますか。

A：現在、ブイハンターフロアブルは販売を中止しています。かんしょのコガネムシにはダントツ粒剤がお奨めです。鹿児島県などのかんしょの産地で広く使用されています。有機栽培にはなりません、高い効果が期待できますので、これを是非使用してください。



2. 鹿児島県 農家の方

Q：農業を始めたばかりです。ペンレート水和剤をかんしょで使用します。希釈する場合、重さを基準とするのですか、容積を基準とするのですか。

A：水和剤、水溶剤などの個体の薬剤は重さ、フロアブル、乳剤などの液体の薬剤は容積を基準として希釈します。従って、ペンレート水和剤の希釈する場合、重さを基準とします。1000倍液は100gを100Lの水で希釈してください。

3. 愛媛県 JAの方

Q：コシヒカリを栽培している農家からの質問です。楽一には楽一21や楽一25等の種類があり、西南暖地用や関東山間部用等がありますが、愛媛県ではどの銘柄が適していますか。

A：コシヒカリの施肥窒素量は地域により異なります。それに対応するために、窒素成分が異なる複数の銘柄を揃えています。施肥窒素量がどの位かで銘柄を選択ください。関東以西の平地では、施肥窒素量は6kg/10aが標準です。それに合わせたのが楽一21で、これを30kg/10a施用すると、窒素量で6.1kg/10a施用されます。また、楽一20Sという銘柄があります。これは、楽一21の伸長抑制効果が強すぎる地域があり、そのような地域のために、倒伏軽減剤のウニコナゾールP含量を少なくした銘柄です。

4. 兵庫県 農家の方

Q：たまねぎ本圃で雑草が子葉～2葉期程度になってからトレファノサイド乳剤を散布しました。除草効果はありますか。

A：トレファノサイド乳剤は雑草が発芽する前に土壤に処理するタイプの除草剤ですので、発芽後の雑草に対しては効果が劣ります。雑草の発芽後に散布する除草剤としてバサグラン液剤がありますので、この除草剤を使用してください。

(山脇)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

1月21日、2月4日の適用拡大、新規登録の内容です。

詳細はここをクリックしてください。

<http://www.i-nouryoku.com/prod/tekiyou/2015.html>

○殺虫剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
パダントレボン 粒剤L (2015/1/21)	作物削除	—	適用作物は稲 及び稲（箱育苗）	適用作物は稲
ダントツ水溶剤 (2015/1/21)	使用回数	にがうり	クロチアニジンを含む農薬 の総使用回数は3回 以内	クロチアニジンを含む農薬 の総使用回数4回以 内（定植時の土壌混 和は1回以内、散布は 3回以内）
		ブロッコリー	クロチアニジンを含む農薬 の総使用回数4回以 内（は種時の散布、 育苗期の株元処理及 び定植時の植穴処理 土壌混和は合計1回 以内、散布は3回以 内）	クロチアニジンを含む農薬 の総使用回数4回以 内（定植時までの処 理は1回以内、定植後 の散布は3回以内）
ダントツ粒剤 (2015/1/21)	使用方法 及び 使用回数	ブロッコリー	は種時の使用方法 （覆土後セル成型育苗 トレイまたはペーパーポット の上から散布する。）	左記に（セル成型育苗 トレイまたはペーパーポット の覆土に均一に混 和する）を追加
			クロチアニジンを含む農薬 の使用回数はダントツ 水溶剤と同様	クロチアニジンを含む農薬 の使用回数はダントツ 水溶剤と同様
		キャベツ	育苗期後半の使用方 法（株元処理）	左記に（セル成型育苗 トレイまたはペーパーポット の上から散布する） を追加
			クロチアニジンを含む農薬 の総使用回数3回以 内（は種時の散布、 育苗期の株元処理及 び定植時の土壌混和 は合計1回以内、散布 は2回以内）	クロチアニジンを含む農薬 の総使用回数3回以 内（定植時までの処 理は1回以内、定植後 の散布は2回以内）

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後	
ダントツ粒剤 (2015/1/21)	作物追加	—	稲を含む33作物	左記に なばな、にが うり を追加	
ゲットアウト WDG (2015/2/4)		—	てんさいを含む13作物	左記に かぼちゃ を追加	
フローバック DF (2015/2/4)		—	野菜類を含む6作物	左記に そば、だいご ん を追加	
アディオオン乳剤 (2015/2/4)		—	なしを含む68作物		左記に にんにく を追加
	害虫追加	しゅんぎく	アフリラムシ類	アフリラムシ類 ハクサイタニ	
		アスパラガス	ジュウシホシクビナガハムシ ヨトウムシ、アフリラムシ類	ジュウシホシクビナガハムシ ヨトウムシ、アフリラムシ類 カメムシ類	
		きゅうり	オンシツコナシラミ アフリラムシ類	オンシツコナシラミ アフリラムシ類 ウリハムシ	
	害虫名 変更	豆類（未成熟、 ただし、さや えんどう、未 成熟そらまめ を除く）、 未成熟そらま め、あずき	フキノメイカ		左記を アスキノメイカ に 変更
		かんきつ	チャノキイロアザミウマ ミカンキイロアザミウマ		左記2種を アザミウマ類 に変更
	ベストガード 水溶剤 (2015/2/4)	ぶどう	チャノキイロアザミウマ		左記を アザミウマ類 に 変更
希釈倍数		ピーマン	コナシラミ類 (1000倍)	コナシラミ類 (1000～2000倍)	
		かんきつ	ミカンキイロアザミウマ アフリラムシ類 (1000倍)	ミカンキイロアザミウマ アフリラムシ類 (1000～2000倍)	
		なし	チュウコクナシキシラミ類 (1000倍)	チュウコクナシキシラミ類 (1000～2000倍)	
		ぶどう	チャノキイロアザミウマ コナカイラムシ類 (1000倍)	チャノキイロアザミウマ コナカイラムシ類 (1000～2000倍)	
害虫追加		ばら	ミカンキイロアザミウマ コナシラミ類	ミカンキイロアザミウマ コナシラミ類 アフリラムシ類	

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
ベジホン乳剤	使用時期	たばこ	未設定	収穫10日前
	使用回数			本剤及びジメトエート、フェンパレートの総使用回数は2回以内
	作物削除	—	キャベツ、はくさい、だいこん、てんさい、たばこ、ばれいしょ	左記よりキャベツ、はくさい、だいこんを削除
住化ジメトエート乳剤 (2015/2/4)	作物削除	—	みかんを含む17作物	左記よりみかん、なつみかん、かんきつ(みかん、なつみかんを除く)、はくさい、トマト、ピーマン、かぼちゃ、しろうり、かぶ、にんじん、ねぎ、にら、たまねぎ、さやいんげんを削除
ジメトエート粒剤 (2015/2/4)	使用回数の設定	ゆり	—	左記よりだいこん、なす、ねぎ、だいず、畑わさび、わさびを削除
		チュールップ®		
		カーネーション		
	使用時期及び使用方法の設定	ゆり	苗の移植直前に浅くすき込む	定植時 植穴土壌混和
		チュールップ®	球根植付前に球根の下2~3cmにすき込む	定植時 植穴土壌混和
カーネーション		苗の定植前に散布	定植時 土壌表面散布	

○殺虫殺菌剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
スタウトダントツ箱粒剤 (2015/2/4)	病害追加	稲(箱育苗)	は種時(覆土前) 苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌)	は種時(覆土前) 苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病
スタウトダントツディアナ箱粒剤 (2015/2/4)	作物追加	—	稲(箱育苗)	稲(箱育苗)、稲

○除草剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
兆1キロ粒剤 及び 兆フロアブル (2015/1/21)	使用時期	直播水稻 (落水散布)	湛水直播の は種直後～稲出芽前 ただし 収穫75日前まで	湛水直播の は種直後～稲出芽前 ただし 収穫60日前まで
		直播水稻 (湛水散布)	湛水直播の 稲出芽始期～ノビエ 1.5葉期ただし 収穫75日前まで	湛水直播の 稲出芽始期～ノビエ 1.5葉期ただし 収穫60日前まで

新規登録

○殺虫殺菌剤

ハスラー R X 粉剤 D L (農薬登録番号：第23602号 登録日：1月21日)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) ウカ類 ツマク [®] ロヨコハイ コフ [®] ノメイカ [®] イネツムシ フ [®] タオビ [®] コヤカ [®] ニカメイチュウ カメムシ類	3～4kg/10a	収穫14日前 まで	2回以内	散布

有効成分の総使用回数

クロチアニジン	メトキシフェノゾト [®]	ハ [®] リタ [®] マイシン	フェリムゾ [®] ン	フサライド [®]
総使用回数 4回以内 (移植時までの 処理は1回以内 本田での散布 空中散布 無人ヘリ散布は 合計3回以内)	3回以内	6回以内 (育苗期灌注は 1回以内、 本田では 5回以内)	2回以内	3回以内

チームワーク粉剤DL（農薬登録番号：第23603号 登録日：1月21日）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 ウカ類 ツマク・ロヨコハイ イネツムシ フタオヒ・コヤカ ニカメイチュウ カメムシ類	3～4kg/10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布

有効成分の総使用回数		
クロチアニジン	ハリタマイン	フサライド
4回以内 (移植時までの 処理は1回以内 本田での散布 空中散布、 無人ヘリ散布は 合計3回以内)	6回以内 (育苗期灌注は 1回以内、 本田では 5回以内)	3回以内

ラブサイドダントツH粉剤DL（農薬登録番号：第23604号登録日：1月21日）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 ウカ類 ツマク・ロヨコハイ イネツムシ カメムシ類	3～4kg/10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布

有効成分の総使用回数	
クロチアニジン	フサライド
4回以内 (移植時までの処理は 1回以内 本田での散布 空中散布、 無人ヘリ散布は 合計3回以内)	3回以内

(山脇)

[目次へ戻る](#)

サンライズファーム日誌

今月は「サンライズファーム西条」について紹介します。



サンライズファーム西条は、経団連の「未来都市モデルプロジェクト」の取組の一つとして、先進的な農業技術の確立と普及を目的とし、2011年に愛媛県西条市に設立しました。2014年11月から稼働したカット野菜工場「サンライズ西条加工センター」(i-農力だよりNo. 119で紹介)と連携した6次産業化を図ることで、地域農業活性化に貢献していきます。

当ファームは西日本最高峰の石鎚山の麓にあり、「名水百選」にも選ばれた良質で豊富な湧水を活用して、レタス・キャベツを中心に露地栽培を行っています。ネットワークカメラを活用した圃場管理、近赤外光照射による鮮度保持技術など、生産・加工・流通過程において様々な技術を取り入れて、効率的で付加価値の高い農業を目指しています。

また近年はレタス・キャベツの裏作で水稻栽培も始め、年間を通じた農地利用を実践しています。

2014年3月に農林水産省の「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」に採択され、パナソニック システムネットワークス(株)と連携して、カラーバーコードを活用した農業ICT技術の確立を目指しています。これら技術の確立により、「農作業の見える化」による業務改善を行い、農業の生産コスト低減・生産性向上を図れると考えています。

今後も地域の皆様と一緒に、新しい地域農業を作っていきたいと思えます。

(事業企画部 長谷川)

サンライズファーム西条HP : <http://www.sunrise-farm.net/>



レタス収穫の様子



カラーバーコードを活用した出荷管理



ファーム西条スタッフ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
レタス (9.6 ha)	収穫・出荷	圃場片づけ		圃場準備		播種	定植	収穫・出荷	トンネル	定型作業(病害中防除・収穫後 栽培ベッドの洗浄・殺菌消毒)			
キャベツ (2.0 ha)	収穫							堆肥・プラウ耕	施肥・新起・畝立	除草・殺虫・殺菌		播種	
コメ (4 ha)	圃場準備		田植	栽培管理	収穫・出荷		圃場片づけ						定植
													収穫

[目次へ戻る](#)

お知らせ

読者プレゼント実施中!

先月から「i-農力だより」をご愛読いただいている会員様を対象に、「読者プレゼント」を実施しています！毎月「農家さん訪問記」で訪れた地方の特産品（お菓子や加工品）を抽選で1名の方にプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております！

★応募方法★

今月号の「i-農力だより」で気になった記事を1つお選びいただき、ご意見・ご感想をお寄せください。

応募締切：**3月15日(日)**



詳細はこちら



パスワード変更のお願い

i-農力サイトの長期にわたるメンテナンスでは、大変ご迷惑をおかけしました。現在会員の皆様に、パスワードの変更をお願いしています。変更がまだの方は、ご協力をお願いいたします。

今後ともi-農力をよろしく願います！

[目次へ戻る](#)

美味しい時間へようこそ♪

相談室から佐伯がお送りします
 食べることは生きること。
 美味しいとはなんと幸せなことか。
 日々の美味しい話を思いつくままお届けします。



魅惑の参道茶屋

「健康祈願」というだけでは無いですが、時節的なことも手伝って、ここ最近、わりと頻繁に寺社仏閣参りをしました。お寺といえばその参道にいろいろと食堂や露店が立ち並んでいるものですが、どれも独特な風情があって魅力的なものばかり。我々親子3人は吸い寄せられるように毎回そういうお店に入っては和んでおりました。今回はそんな「魅惑の参道茶屋」のお話です。

昨年年末は深大寺（じんだいじ）へ出かけました。深大寺は東京都調布市にあるお寺で、お蕎麦で有名なことから、参道やその外にまでたくさんのお蕎麦屋さんさんが立ち並んでいます。その日は寒い日でしたので早々にあるお蕎麦屋さんに入りました。2階に通されると大きな座敷となっていて、お客さんがみな美味しそうにお蕎麦をすすっています。早速温かいお蕎麦でも・・・と思いましたが、メニューを見るとなんだか美味しそうだったので天ざるにしてみました。味わい深い蕎麦に濃いめのつゆがマッチして、サクサクのお天麩羅とともに美味しくいただきました。娘にはつゆが濃い過ぎたので蕎麦だけ食べさせてみましたが、味がわかっているのかどうかわかりませんが、何やら美味しそうに食べていました。



深大寺の名物 お蕎麦



中山名物 きぬかつぎ
と昼からビール（笑）

年が明けてお正月も過ぎた休日には中山法華経寺へ出かけまし

た。中山法華経寺は千葉県市川市にあるお寺で、佐伯自宅からも近い散歩気分で行きました。この日も風が冷たい寒い日だったので、参拝を早々に済ませて境内にある茶屋に入りました。小腹が空いたのと、娘のおやつの時間だったので、子供でも食べられる何か適当なもの・・・とメニューを探すと「中山名物 きぬかつぎ」とあります。聞いてみると、きぬかつぎは里芋をふかしたもので、平安時代、外出する貴婦人が顔を隠すため、小袖を頭からかぶった姿に由来する名称だそうです。ためしに頼んでみると、これが大当たり！ただただ、ふかしただけの皮付きの里芋なのですが、根菜独特

の甘みが強くとっても美味！田楽味噌をつけていただければビールのおつまみにもぴったりでした（笑）。一方、娘はどうもろこしに似た甘みを持った里芋に大喜びで、大人に負けずもりもり食べていました。

さて、続けて1月後半には成田山新勝寺にも行ってみました。成田山新勝寺は千葉県成田市にある全国的にも有名なお寺です。1月後半ともなれば、さすがに参拝客もお正月ほどでは無いだろうと思って出かけましたが、そこは有名なお寺だけあって、まだまだ人でいっぱいでした。それでも何とか参拝を済ませて、お腹も空いたので裏路地にある食堂に入りました。ここでは成田名物のうなぎをいただきましたが、久々食べたこともあってしみじみ美味しかったです。また温かいお蕎麦がついてきて、これも冷えた体にありがたかったです。



成田山新勝寺参道にて

それぞれのお寺では家族の健康と自分の健康を祈願しましたが、念が通じたのか、今のところ昨年のように「すぐ風邪を引く+長引く」状態には至っていません。おかげさまで毎日美味しく食べられています。なので、これは「ぜひお礼参りに行かねば！」と思っています。が、たぶんまた、参道茶屋で何か美味しいものを食べちゃうんだろうな～（笑）。（佐伯）

[目次へ戻る](#)

マーケティング部
木村の

気ままに鉄道 SWIM BIKE RUN

トライアスロンの旅

Vol.17

趣味のトライアスロンの練習距離を手持ち距離として全国の鉄道を気ままに旅するこの企画。前回は休息月ということで道後温泉をレポートしました。果たして今月はどこまで進むのか！？

昨年12月から1月にかけては、心底しんどい月でした。仕事が溜まりに溜まり、締切日を過ぎても終わらず、周りの人に迷惑をかけてばかり、謝ってばかりの毎日で正直疲れております。こんな状態ですので、トライアスロンの練習もままならず、2か月間でスイム10.5km、バイク26km、ラン8kmにとどまり、今回手持ち距離は337kmになりました。ピアノの練習もほぼできない状態でしたが、グッピーちゃんは、3匹から12匹に増えました(飼い始めた時の成魚3匹は残念ながらお亡くなりになりました)。父魚は黄色の縞模様、母魚はオレンジ色の斑点模様だったのですが、生まれた子供達は、模様は母親と同じで、色だけが父親似になっており笑えました！！

それでは前回の終着駅である北伊予駅から、反時計回りに四国を一周すべく西へと進みます。この辺りは2013年に担当薬剤のディアナWDGのかんきつ分野での普及のために何度も訪れた地域なので、それなりに馴染みがあります。3つの太陽(→意味不明の方は、「みかん」&「3つの太陽」で検索！)のことを想い出しながら、八幡浜を過ぎ南下すると宇和島へ到着します。さらに進むと地図を見てみますと、その先の線路がない！つということに気づきます。どうやら宇和島は予讃線の終着駅らしく、ここで四国一周の夢は潰れることに。。。仕方がないので元の路線を戻り、逆回りで高知まで行ってしまえ！と思ったのですが、手持ち距離が足らずに到着したのが香川県にある土讃線の琴平駅です。これまで木村は、大阪人を気取っていましたが、実は四国生まれでございまして、琴平駅から3駅先にある讃岐財田が母の実家の最寄駅になるのです。里帰り出産だったので、育ちは大阪で間違いないのですが、朝ご飯にうどんは普通に食べますし、讃岐文化は木村の中には息づいております。琴平と言えば、こんぴらさんであり、お土産の定番である「灸まん」ですね！似たものに「かまど」があり、この食べ比べはやってみる価値あります！年末か年始か忘れましたが、ちびまる子ちゃんもこんぴらさんに家族旅行で来ていました！うどんやさんにはおでんがあって、これがまた美味しいんですね！讃岐にきたら、うどんだけでなく、このおでんをぜひ食べてほしいものです。ちびまる子ちゃんを見ていて気になったことがあります。静岡人は「さぬき」と発音するのですが、木村は「さぬき」と平たく発音します。このイントネーションの違いが妙に気持ち悪く鳥肌が立ったのですが、念のため静岡出身の妻に発音させてみると同じく「さぬき」で、妻にも鳥肌が立ちました。(ちなみに、まる子は旧清水市の出身で、妻は浜松市なので、正確に言うと妻は浜松人になります。静岡県民はかなりこの区別を重要視します。ジュビロ派とエスパルス派でも判る

通り、同じ静岡県でも西と東は明らかに異なるものとして理解されています)。

ということで今月は地元ネタでまとめてみました。次回は高知を目指しますが、練習しすぎると元に戻って岡山辺りかもしれませんね。もしかすると我が町大阪かも！

※ 手持ち距離 = (SWIM 練習距離 × 26.6) +

(BIKE 練習距離 × 1) + (RUN 練習距離 × 4)



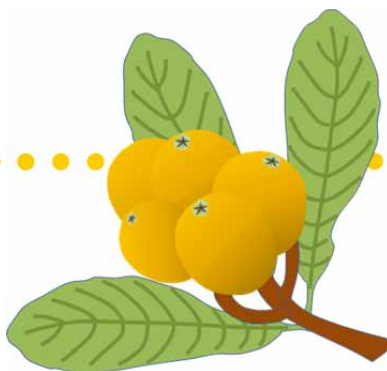
[目次へ戻る](#)

～ 編集後記 ～



今回の農家さん訪問は長崎市・宮崎町のびわ農家さんでした。インタビューを終えてから、海岸線を茂木方面に移動するとまもなく山に入り、急峻な崖が連続します。道の右側は急勾配で立ち上がり、左側ははるか下の海岸線に落ち込み、車は右に左に急なカーブを切りながら進みます。ところどころに集落がありますが、集落近くではこの急峻な崖にびわ栽培のハウスが立っています。「こんな急峻な斜面にハウスを建てるなんて・・・」と言うと、今回案内頂いた温仙堂濱口副本部長は「この程度のはまだまだです。私は 40 度以上の傾斜がある崖でハウスを建てたことがあります」と言っておられました。この地域のびわ栽培にかける執念のようなものを感じました。しばらく、集落のない谷の中の道を進み、長いトンネルに入りました。トンネルを出たところも崖が続くのかと思っていると、いきなり長崎市街に入り、狐につままれたような気持ちになりました。典型的なリアス式海岸の長崎市の地形がなせる不思議です。長崎空港に到着し、お土産ショップを見て回ると、「茂木びわ」に関連したお菓子が沢山並べられており、「さすが、びわどころ」と感じ、つい先ほどまで見ていた急峻な崖でのびわ栽培の風景が走馬灯のように頭を巡りました。

(山脇)



今回は長崎県のびわ農家さんを訪問させていただきました。実は大学の研究室の OB に長崎県出身者がおり、毎年初夏になると研究室に茂木びわが届き、賞味していました。それまでは親戚が(なんとなく?)栽培していて、食べる部分があまりなく固いびわしか知りませんでしたので、「こんなに大きくてジューシーなびわがあったのか!」と感激した記憶があります。こうして栽培の現場を見ることができたのは何か縁を感じます。

今回訪問した田平さんの所では低木栽培をされていましたが、傾斜のきつい土地に背の高いハウス内でびわ栽培されているところもまだまだ多く、皆様のご苦勞がしのばれました。農作業は時に危険を伴うものですので、くれぐれも安全には留意され、美味しい果実を我々に提供いただけたらと思う次第です。

(品質保証室 木下)

次月号の - 農力だよりは
3月31日(火)の発行予定です。
どうぞお楽しみに!!

[目次へ戻る](#)